



あ

す

へ

CPCニュース

No.282

毎月 1日発行

平成31年新春号

## 年頭所感

### 豊かで活力あふれる中国地方経済の実現に向けて

中国生産性本部 会長  
清水 希 茂  
(中国電力株式会社  
代表取締役社長執行役員)



年頭の所感に先立ち、昨年7月の岡山・広島をはじめとした中国地方の広い範囲において発生した豪雨災害によって、亡くなられ、被災された多くの皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

あらためまして、皆様方におかれましては、気持ちを新たに、新しい年をお迎えになられたことと存じます。昨年中は、当本部の事業活動に対し、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、当本部における経営品質、人材育成、労組・労使関係などの各種事業につきまして、計画に沿って実施できていることをご報告致しますとともに、改めてお礼申し上げます。

さて、現下の我が国経済は、相次いで発生した自然災害の影響はあったものの、緩やかな景気回復が長期間にわたって継続しており、企業収益や設備投資が拡大する中で、雇用・所得環境が改善し、更には消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が実現しつつあります。同様に、中国地方においても、生産活動等の一部に豪雨災害の影響が見られたものの、景気は着実に回復してきています。

一方で、少子・高齢化の進展による生産年齢人口の減少と相まって、人手不足が今後の経済成長の制約となることが懸念されておりますが、有効求人倍率や失業率の数字に見られるように、特に中国地方においては、人手不足感が高まっています。

こうした状況であるからこそ、人口減少社会の到来を好機と捉え、成長戦略の核と位置付けられている労働生産性向上の取り組みを社会全体で加速させていくことが必要であり、生産性運動の一層の推進に期待が寄せられているといえます。

中国地域には、豊かな自然や文化・歴史を背景とした農林水産資源や観光資源等が豊富に存在しており、成長の糧となる新たな財・サービスを生み出す素地にあふれています。当本部では、経営者・労働者・学識者、三者の英知を結集しながら、豊かで活力あふれる中国地方経済の実現に向けて、生産性運動を精力的に展開していく所存でございます。

最後に、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう祈念いたしますとともに、当本部の諸活動に対しましてこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。